



第4号
2020年12月発行
西宮市立西宮東高等学校
図書委員会 広報部

「藤井聡太名人をこす少年」 津江章二

☆特集☆ 長期休暇に読みたい本

「タスキメシ」 額賀 滯

陸上の名門校で長距離選手として将来を期待されていた眞家早馬（まいえそうま・高3）は右ひざの骨折という大けがを負いリハビリ中。弟の春馬や陸上部部長で親友の助川やライバル校の藤宮らは、早馬が戻ってくることを切実に願っているが、早馬は競技からの引退を宣言する…

才能ある弟への嫉妬や、自分の限界がわかることへの怖さから怪我を言い訳にして陸上から離れようとした早馬。そしてそれぞれの熱い思いが交錯する駅伝大会がスタートする。そのゴールの先に待っているものとは…

高校駅伝、箱根駅伝の臨場感溢れる描写とともに、箱根駅伝を夢見て長距離走に青春をささげる陸上青年それぞれの思いと生きざまが熱く描かれている熱血スポーツ小説となっています。現在青春まっただ中の世代やスポーツ観戦が大好きな方々にも多くの方の心に感動を呼ぶこと間違いなしです！！

分厚い本になっているので長期休暇などの時間のあるときにじっくり読むことをおすすめします。

藤井四段として有名になり、ゲームとして「棋士藤井聡太の将棋トレーニング」を発売したり、最近では「棋聖」となった藤井聡太さんのこれまでの将棋に対しての人生や今までの将棋の対局、藤井聡太の強さの理由などについて書かれています。

再び巻き起こった藤井聡太ブームに乗るために冬休みに一度この本を読んで藤井聡太さんについて知ってみてください!!!

「かがみの孤城」 辻村深月

この本の作者である辻村深月先生は、読者をいい意味で裏切ってくれることで非常に有名です。

「かがみの孤城」はそんな辻村先生の代表作です。主人公のこころは友達関係のトラブルで不登校になってしまった中学生で毎日家に引きこもっていましたが、ある日突然部屋の鏡が光りだしそころはその中に引きずり込まれてしまいます。

本作はミステリーが主な題材となっており、最後は誰にも予想のつかない結末となっています。

なんとなく生きづらさを感じている人や伏線回収が多い話が好きな人、読書を趣味にしたいけれど何から読み始めたらいいかわからない人にも非常にオススメです。

この読書の秋にぜひ読んでみてください。